



伊達みきおさん
1974年仙台市生まれ。八乙女中学校、
仙台商業高等学校卒。ツッコミ担当
※パネルは、伊達さん（写真左）が登場
した昭和63年5月号の市政だより

「ベ」とか「だっちゃん」とか、漫画
でしか聞いたことのないような言
葉が飛び交っていて驚きました。
でも、あっという間に染まって普
通に使っていました。
市長 仙台商業高校のラグビー部
でお二人は出会われました。第一
印象はいかがでしたか。
富澤 「なんかかわいいやつがい
るな」。
伊達 どういうことだよ！一緒に
自転車で帰るようになって仲良
くなったかな。ラグビー部の仲間は
みんな面白くて、笑いのセンスが
ある人たちの集まりでした。今も
本当に仲が良く、毎年、仙台で
の単独ライブの時はラグビー部全
員が集まるんですよ。
富澤 部活が楽しいから学校に行
くという感じでしたね。
市長 すてきですね。ラグビー部
の強い絆を感じます。高校時代の

楽しい思い出が、今の活動の原点
なのかもしれないね。
芸人としての覚悟
市長 高校卒業後はそれぞれ違う
道を歩まれるわけですが、どのよ
うな経緯でコンビ結成に至ったの
でしょうか。
富澤 ぼんやりと芸能人になりた
いという気持ちがあったのですが、
どうすればなるのか分からない。
そんな時に仙台にお笑い劇場がで
きて、これだと思いい、相方に伊達を
誘いました。でも「仕事を辞めら
れない」って断られて。別の人と
コンビを組んで活動していました。
市長 富澤さんは、なぜ伊達さん
を誘おうと思ったのですか。
富澤 面白かったからです。
市長 何が面白かったんですか？
富澤 えっ、何が？
伊達 この人どこが面白いんです
か？って聞こえましたけど（笑）。
市長 そうなっちゃいましたか？



富澤たけしさん
1974年東京都生まれ。南光台中
学校、仙台商業高等学校卒。ボケ
担当

ごめんなさい（笑）。
富澤 まあ相性が良かった
からだと思います。
伊達 僕は5年ほど仙台と
福島で福祉関係の仕事をし
ていたんですけど、その間
も富澤からずっとコンビを
組もうと誘われていました。
そんな時、大好きなおじい
ちゃんが亡くなって「人はいつか
亡くなるんだ」と思ったら、一度
きりの人生、好きなことをやりた
いと思いました。それで意を決し
て富澤の誘いを受けることにしま
した。当時、仙台は「お笑い不毛
の地」と言われていて、そういう
文化がなかったから親にはすごく
反対されましたけど。
市長 そんな状況の中で、24歳の
ときにお二人は上京される。
伊達 何をしたらいいか分からず、
とりあえず雑誌で見たオーディシ
ョンに応募したり、デモテープを
芸能事務所のポストに投函しに行
ったり。一切連絡は無かった
んですけどね。たまにライブに
は出ても、テレビには出られ
ないまま30歳を迎えるわけな
んですよ。
市長 一時は解散の話もでた
とか。
伊達 ある日、富澤から「辞
めよう」って言われて。でも



「いや、まだ早いよ」って答えたん
です。まだ何も結果を残していな
いのに辞めるのはもったいないと。
富澤 そう言われて「まだ本気の
挑戦をしないんじゃないか」
と思っ直したんです。
伊達 「この1年間真剣に笑いに
取り組んで、それで全国ネットの
テレビ番組でネタができなかつた
ら辞めよう」と話し合いました。
富澤 ライブはチケット販売のノ
ルマがあるので、自分たちで買い
取って売らないといけないんです。
知り合いが少ないと売れないから
赤字になる。それが嫌であまりラ
イブに出ていなかったのですが、
借金してでもライブに出ようと決
めて、片っ端から出演しました。
それがテレビ局の人の目に留まっ
て、お笑い番組「エンタの神様」
に出演できることになった。自分
たちで決めて行動を起こしたこと
で、いろんな人を見てくれて。こ
ういうことなんだって感じました。

サンドウィッチマン × 郡市長



笑顔 咲き誇る 未来のステージへ 心強い応援団との新春対談開演！

仙台観光アンバサダーのサンドウィッチマンのお二人をゲストにお迎えし、お笑いへの挑戦や仙台の魅力などについて、郡市長と語り合ってくださいました。「ちょっと何言ってるか分からない？」いえいえ、仙台愛あふれる対談をぜひお楽しみください。

最高の仲間との出会い

市長 あけましておめでとうござ
います。お二人には、観光アンバ
サダーの就任以前から、仙台の
食・観光・スポーツなどさまざま
な魅力をPRいただいていた
改めて感謝申し上げます。
伊達 やっとアンバサダーになれ
まして（笑）。仙台をさらにPR
しないといけないなど。
市長 実は伊達さんは、中学生の
時に市政だよりの表紙に登場され
ていました（3ページ参照）。
伊達 当時、八乙女中学校の1年
生で、学校の裏山でぼや騒ぎがあ
ったんですよ。みんなでバケツリ
レーで消火したのが紹介されたん
ですよ。
富澤 隣が僕ですね。
伊達 違います。同級生です。
市長 かわいらしくて面影が残っ
ていますね。子どもの頃の仙台で
の思い出を教えてください。
伊達 いっぱいありますが、物心
がついたときには鶴ヶ谷に住んで
いて、友達と遊んでいました。そ
れと、よく親父に仙台城跡や定義
山に連れて行ってもらったのを覚
えています。定義山の油揚げは今
も大好きです。
富澤 僕は小学校の時に新潟から
引っ越してきたんですけど、「だ



市長 現在、仙台市では、未来を見据えたまちづくりを始めていて、

青葉山から未来をひらく

市長 富澤 真つ先に思ったのは「借金返せるー！」でした(笑)。
伊達 仙台の実家の両親は見てくれているかなんて思っていました。
市長 本気で取り組むと道が開けるということをお二人が示してくれましたと思います。今では富澤さんはM-1を審査する側になりましたが、ご自身の経験を振り返って、夢に向かって挑戦する若い世代にどんなアドバイスを送りますか。
富澤 まずは挑戦すること。やらないで諦めちゃうとずっと後悔すると思うんですよ。何でも挑戦してダメだったらやめればいいし、やり直しもきくと思います。
伊達 最近、仙台で夢をかなえる方もたくさんいますよね。
市長 お二人のように仙台から活躍する方を輩出していきたいですし、若い世代の方が未来に夢を描ける、そしてそのための挑戦を応援するまちでありたいと思います。

伊達 東北6県の絆は特別ですよね。次は、同じ仙台と名前に付く仙台商業高校に甲子園で赤い旋風を巻き起こしてほしいですね。実は高校野球などで試合前に両チームがあいさつする文化って仙台から始まったんですよ。片平公園(旧制二高グラウンド跡)で行われた野球大会であいさつしたのが発祥とされていて、野球の「聖地・名所150選」に選ばれたんです。
富澤 ラジオでリスナーから、片平公園に何か案内板などがあったらというメールが届きました。
伊達 すごく誇らしいことだと思います。ぜひお願いできれば。
市長 教えていただきありがとうございます。さまざまな検討させていただきます。

市長 4月からは、青葉山公園をメイン会場に、日本最大級の花と緑の祭典「第40回全国都市緑化仙台フェア」が開催されます。見どころは大花壇「はなばた飾り」。
富澤 七夕だ。映えますね！
市長 そうなんです！七夕の吹き流しをモチーフにしています。実は、仙台での緑化フェアは、平成元年に七北田公園で開催した「グリーンフェアせんだい」以来、34

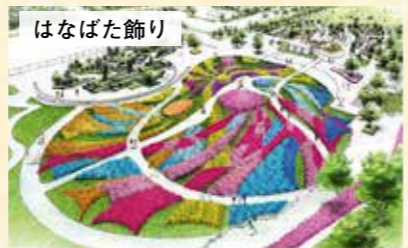
伊達 仙台は大好きなまち。仙台ほど良いまちはないと思っていました、仙台で仕事したいから東京で頑張っています。仕事で仙台に帰れるのがすごくうれしい。
富澤 葛岡で火葬してくれてよく言ってるもんね(笑)。昔は都会に憧れていましたけど、仙台は少し行けば山も海もあるし、街ではいろいろな物が手に入る。こんなにおいしいものがあつたんだって外から見ても良さに気付きました。
市長 お二人の仙台愛がひしひしと伝わってきてとてもうれしいです。そんなところもサンドさんの魅力ですよ。毎年のライブツアーも大変人気ですが、ネタにもお二人の優しさがあふれていて、癒やされます。例えば「クツもパン♪パンパン♪」。
伊達 「小麦が香る男」ですね。僕のアドリブコントなんです。
市長 富澤さんのネタではないの

その鍵の一つになるのが伊達政宗公が城を築いた、まさに「仙台はじまりの地」とも言える青葉山エリアです。自然、歴史、文化などの多彩な魅力を磨き上げ、仙台の素晴らしさを感じてもらえるエリアにしたいと思っています。
伊達 いいと思います。青葉山って良いところですよ。
市長 その一つとして、文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、災害を乗り越える知恵「災害文化」を創造する中心部震災メモリアル拠点の複合整備を進めています。この予定地は、お二人の母校仙台商業高校の跡地、さらに歴史をひもとくと伊達さんのご先祖、お家の屋敷跡もあつた、お二人に非常に縁のある場所です。
伊達 そうなんです。母校は今、駐車場になってますが(笑)、新しく生まれ変わるのが楽しみです。

伊達・富澤 しつかりとやらせていただきます！
市長 お二人には、仙台の街の活性化に貢献いただくとともに、市民の皆さんの心の栄養、ほっとするようなひとときも届けてもらっています。



年ぶり2回目となります。
伊達 やってましたね！僕らが中学生の頃。何が行われていたか分からなかったけど(笑)。
富澤 よくCMが流れていたのが覚えていました。緑なんだなって。
市長 その頃、昭和60年代から平成初期の仙台は、地下鉄が開業し、政令指定都市になるなど、都市として大きな転換を迎えました。
伊達 八乙女駅で「地上じゃん！全然地下走らないじゃん！」と思ったのを覚えています(笑)。
市長 34年の歳月を経て、戻ってきたこのビッグな催しを、一緒に盛り上げていただけたらうれしいです。



最後に、市民の皆さんへメッセージをちようだいできますか。
伊達 僕は東京に住んでいます。僕らを見たら仙台を思い出してもらえよう、これからも全力で仙台の素晴らしさを発信していきます！
富澤 僕らが頑張ることで、地元仙台の魅力を発信することができると思っています。仙台の皆さんが頑張っている姿を見ると、僕らもまた頑張れます。お互いに仙台を盛り上げていきたいですね。
市長 私も、働くなら、子育てするなら、遊びに行くなら仙台と想っていただけのような、市民の皆さんの笑顔があふれるまちづくりを進めてまいります。お二人の今後のますますのご活躍を期待しています。本日はありがとうございます。

東北人の思いやりの心
市長 東京で生活されてから25年が経ちますが、改めて仙台のまちをどうご覧になっていますか。
伊達 最近、仙台で夢をかなえる方もたくさんいますよね。
市長 お二人のように仙台から活躍する方を輩出していきたいですし、若い世代の方が未来に夢を描ける、そしてそのための挑戦を応援するまちでありたいと思います。

伊達 仙台は大好きなまち。仙台ほど良いまちはないと思っていました、仙台で仕事したいから東京で頑張っています。仕事で仙台に帰れるのがすごくうれしい。
富澤 葛岡で火葬してくれてよく言ってるもんね(笑)。昔は都会に憧れていましたけど、仙台は少し行けば山も海もあるし、街ではいろいろな物が手に入る。こんなにおいしいものがあつたんだって外から見ても良さに気付きました。
市長 お二人の仙台愛がひしひしと伝わってきてとてもうれしいです。そんなところもサンドさんの魅力ですよ。毎年のライブツアーも大変人気ですが、ネタにもお二人の優しさがあふれていて、癒やされます。例えば「クツもパン♪パンパン♪」。
伊達 「小麦が香る男」ですね。僕のアドリブコントなんです。
市長 富澤さんのネタではないの

ですか？
富澤 あんなの僕作らないです。伊達 あんなのって言わないで。ちゃんとしたネタは富澤が作るんです。毎回ライブで僕が1個だけネタを作るんです。
市長 富澤さんが伊達さんのボケに本気で爆笑していて、お二人の仲の良さがにじむやり取りに、見る側も温かい気持ちになります。
富澤 そうというのが好感度につながるんですよ。
伊達 恥ずかしいね、自分で(笑)。
富澤 でも東北の人の人柄というか、震災の時も我が我がではなく、お互いに譲り合っていたのもいいなと思っています。
伊達 避難所を訪問したとき、1日1個しか配られないおにぎりを「食べさい」って差し出してくれるんですよ。もちろんもらってないですけど、あの光景は今でも忘れられません。
市長 お二人は、気仙沼で被災されて、震災以降ずっと被災された方々の心に寄り添い、力強く応援してくださりました。
伊達 僕らも津波の猛威を目の当たりにしながら助かった。僕の友達も含めて多くの方が津波の犠牲になります。僕たちもメッセージを

伝える立場として、震災を風化させないように、ずっと活動していきたいと思っています。
市長 あの時、東北人ならではの粘り強さと、人のために何かしなきゃいけないという気持ちでみんな乗り越えていったんだと思います。私たちには東北全体で一つという気持ちがありますよね。昨年、仙台育英学園が甲子園で優勝したときにも、東北各地から「おめでとう」って祝福していただきました。皆さん、わが事のように喜んでいただいて。

伊達 仙台は大好きなまち。仙台ほど良いまちはないと思っていました、仙台で仕事したいから東京で頑張っています。仕事で仙台に帰れるのがすごくうれしい。
 富澤 葛岡で火葬してくれてよく言ってるもんね(笑)。昔は都会に憧れていましたけど、仙台は少し行けば山も海もあるし、街ではいろいろな物が手に入る。こんなにおいしいものがあつたんだって外から見ても良さに気付きました。
 市長 お二人の仙台愛がひしひしと伝わってきてとてもうれしいです。そんなところもサンドさんの魅力ですよ。毎年のライブツアーも大変人気ですが、ネタにもお二人の優しさがあふれていて、癒やされます。例えば「クツもパン♪パンパン♪」。
 伊達 「小麦が香る男」ですね。僕のアドリブコントなんです。
 市長 富澤さんのネタではないの

